



日本機械学会

ロボティクス・メカトロニクス部門 部門便り

2025年10月



ロボティクス・メカトロニクス講演会2025(ROBOMECH2025 in Yamagata)開催報告

開催日：2025年6月4日（水）～6月7日（土）

会場：山形ビッグウイング（〒990-0076 山形市平久保100番地）

やまぎん県民ホール（〒990-0828 山形県山形市双葉町1丁目2-38）

講演会URL：<https://robomech.org/2025/>

ROBOMECH2025実行委員長 妻木 勇一（山形大学）

ロボティクス・メカトロニクス講演会2025 (ROBOMECH2025 in Yamagata) では「フロンティアを拓くロボティクス・メカトロニクス」をテーマに、2025年6月4日（水）から6月7日（土）にかけて山形ビッグウイングとやまぎん県民ホールを主会場として開催しました。ポスターセッション会場となった山形ビッグウイングがJR山形駅から離れていたため19台の無料シャトルバスを準備し、会場と駅を結びました。ご不便をお掛けしたかもしれません、大きな混乱もなく運行でき、実行委員一同ホッと胸をなでおろしました。ポスターセッションでは、1,539件の発表が行われ、2,311名の方が参加されました。いずれも過去最多です。特別ワークショップやチュートリアル等への無料の参加者を合わせると総参加者数は2500名を超えたと推定されます。さらに、チュートリアル3件、ワークショップ9件とこちらも過去最大規模となりました。また、プラチナスポンサー8社とゴールドスポンサー37社、合わせて45社の企業からご支援をいただきました。山形ビッグウイングの会場では、写真1に示すように、その広さを活かし、ポスター会場、企業展示、休憩所をワンフロアに配置することで、一体感のある活気あふれる講演会になったと思います。

初日の6月4日（水）には、やまぎん県民ホールでワークショップ、チュートリアルが行われました。また、昨年の「ロボメカ部門活動紹介」は「ロボメカ・ファンミーティング」と刷新されました。第一部「ロボメカの今を知り、未来を望む」では活動紹介とパネルディスカッションが行われ、続く第二部「ロボメカの未来を望む」では、80名を超える皆さんと交流を深めました。6月5日（木）、6日（金）には、ポスターセッション、企業展示、特別講演会、表彰式、懇親会、高校生特別セッションが行われました。ポスターセッションでは、多くの方が参加し、各所で活発な議論が展開されていました。特別講演会では国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所 教授 川勝康弘先生をお招きし、「火星衛星探査計画MMX～世界初の火星衛星サンプルリターン～」と題してご講演をいただきました。本講演会のテーマにふさわしいフロンティアを拓く宇宙探査の迫力ある内容に、多くの参加者が胸躍らせたことだと思います。



写真1 講演会場

懇親会はホテルメトロポリタン山形で開催し、写真2に示す山形の日本酒15種類30本と共に、参加者の交流を深めていただきました。また、講演二日目には、初の試みとして高校生特別セッションを実施しました。未来のロボット・メカトロニクス研究者・エンジニアを育む場として手応えを感じました。最終日の6月7日（土）には市民向け企画として、パイプロボコン・ロボット工作教室を開催する一方、山形大学小白川キャンパスではロボメカ2025特別ワークショップ「ロボット革命」を開催し、約260名の方が参加され、大変盛り上りました。また、この日はエクスカーションとしてさくらんぼ狩りを実施し、参加者の皆様に山形の旬を楽しんで頂きました。

このような活気あるロボメカ講演会をここ山形で開催できたことを大変嬉しく思っております。本講演会にご参加頂いた皆様、また運営にご協力いただいたすべての皆様に、心より御礼を申し上げます。



写真2 懇親会（山形の日本酒）

部門賞・部門一般表彰報告

去る2025年6月5日(木)にロボティクス・メカトロニクス講演会2025にて、部門賞、部門一般表彰の表彰式が行われました。

各賞の内容と受賞者を以下にご紹介します。

1. 日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門賞

日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門では、ロボティクス・メカトロニクス分野の活性化をはかるため、功績・業績を対象とする以下の部門賞を設けております。

(1) 部門功績賞

ロボティクス・メカトロニクスの分野で、研究、教育、学会活動の面で多大な影響を及ぼし、国際的評価が高く、かつ有力な著書、論文などを著している個人または団体（法主体）に贈る。

(2) 部門学術業績賞

ロボティクス・メカトロニクスの分野で萌芽的あるいは発展性のある学術業績を挙げた個人または団体（法主体）に贈る。

(3) 部門技術業績賞

ロボティクス・メカトロニクスの分野で萌芽的あるいは発展性のある技術開発面での業績を挙げた個人または団体（法主体）に贈る。

〈各賞の選考プロセス〉

部門運営委員会の指名による表彰委員会（委員長は副部門長が担当）が部門賞候補者の中から日本機械学会部門賞通則第5項に基づく人数以内を選考し、推薦理由を付して部門長に報告した後、最終決定をロボティクス・メカトロニクス部門運営委員会が行い、部門協議会を経て理事会に報告するものです。

〈部門賞候補者の推薦方法及び時期〉

部門賞の受賞候補者は原則として日本機械学会会員とします。部門賞募集は公募によるものとし、推薦または本人または団体（法主体）からの申請を部門長に提出します。募集方法は、部門ホームページや部門主催講演会などで公示しますが、推薦締切は原則として当該年度の10月末日です。

部門賞

部門功績賞	田中 真美（東北大学）
部門学術業績賞	多田隈 建二郎（大阪大学）
部門技術業績賞	平田 泰久（東北大学）

2. 日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門一般表彰

ロボティクス・メカトロニクス分野の活性化をはかるため、成果・貢献を対象とする以下の部門一般表彰を設けています。

(1) 部門貢献表彰

部門への著しい貢献が認められる個人、または団体に対して行う。

(2) 部門先端技術表彰

企業等において数年以内に開発・発表されたロボティクス・メカトロニクス分野に関連する新技術、製品、およびシステムを対象とし、当該技術を開発・発表した個人または団体に対して行う。

(3) 部門優秀製品表彰

ロボティクス・メカトロニクス分野に関連する製品で、設計、生産、デザインなどの技術力、独創性において国内外で高い評価をうけているものを対象とし、当該製品を開発した個人または団体に対して行う。

(4) 部門優秀論文表彰

過去3カ年に発行された日本機械学会学術誌で直接投稿され掲載された単一の論文のうち、優秀な論文の著者全員に対して行う。

(5) 部門教育表彰

ロボティクス・メカトロニクス分野に関わる教育活動において顕著な業績をあげた会員個人またはグループに対して行う。

(6) ROBOMECH表彰（学術研究分野）

当該年度のロボティクス・メカトロニクス部門が主催および共催する講演会・シンポジウムなどにおいて、研究内容および技術的成果に対して高い評価を得た著者全員に対して行う。

(7) ROBOMECH表彰（産業・実用分野）

当該年度のロボティクス・メカトロニクス部門が主催および共催する講演会・シンポジウムなどにおいて、産業応用および実用化された技術成果に対して高い評価を得た著者全員に対して行う。

(8) ベストプレゼンテーション表彰

当該年度のロボティクス・メカトロニクス講演会において、プレゼンテーション面に対して高い評価を得た個人に対して行う。

(9) ベストデモンストレーション表彰

当該年度のロボティクス・メカトロニクス講演会において、デモンストレーションに対して高い評価を得た個人に対して行う。

(10) 部門欧文誌表彰

ROBOMECH Journalに掲載された優秀な論文の著者全員に対して行う。

(11) 競技部門表彰

ロボットグランプリ、レスキューロボットコンテストおよびロボカップジュニアの各競技カテゴリにおいて、開発内容に対して高い評価を得た開発者全員に対して行う。

(12) 分野融合研究優秀表彰

当該年度のロボティクス・メカトロニクス講演会等の部門間連携OSにおいて発表された研究を対象とし、分野融合研究が最も優秀な研究と評価を得た研究の著者全員に対して行う。

〈各賞の選考プロセス〉

部門運営委員会の指名による表彰委員会（委員長は副部門長が担当）が部門表彰候補者の中から適格者を選考し、推薦理由を付して部門長に報告した後、最終決定をロボティクス・メカトロニクス部門運営委員会が行い、部門協議会を経て理事会に報告するものです。

〈表彰候補者の推薦方法及び時期〉

部門一般表彰の表彰候補者は原則として日本機械学会会員とします。部門貢献表彰、部門先端技術表彰、部門優秀製品表彰、部門優秀論文表彰、部門教育表彰およびROBOMECH表彰の候補者は公募によるものとし、推薦または本人からの申請を部門長に提出します。募集方法は部門ホームページや部門主催講演会などで公示しますが、推薦締切は原則として部門先端技術表彰、部門優秀製品表彰、部門優秀論文表彰、部門教育表彰は当該年度の6月末日、部門貢献表彰、ROBOMECH表彰は当該年度の10月末日です。ベストプレゼンテーション表彰、ベストデモンストレーション表彰は当該年度のロボティクス・メカトロニクス講演会の実行委員会が候補者を選考し、開催日から5ヶ月以内に表彰委員会に推薦します。部門欧文誌表彰は欧文誌委員会が候補論文を選考し、当該年度の11月末日までに表彰委員会に推薦します。なお、ROBOMECH表彰で対象とする講演会・シンポジウムは前年度の10月1日以降、当該年度の9月30日までに開催されたものとし、部門欧文誌表彰で

部門貢献表彰

主な功績・業績	受賞者
第29回ロボティクスシンポジア実行委員長	武村 史朗（沖縄高専）
ROBOMECH2024実行委員長	尾崎 功一（宇都宮大学）
ICAM2024実行委員長	柴田 智広（九州工業大学）

部門先端技術表彰

技術名	受賞者
VISUAL HAPTICSを用いた遠隔操作ロボット	春名 正樹（三菱電機株式会社）

部門優秀製品表彰

製品名	受賞者
簡易遠隔操縦装置「ロボQS®」	山崎 峻一（株式会社IHI）

部門優秀論文表彰

論文題目	受賞者
高機能3Dプリンティングのための動的補償システムの開発と評価（日本機械学会論文集）	安 辰晟 (Carima), 村上 健一, 平野正浩, 山川 雄司 (東京大学)
Admittance learning strategy using generalized simplex gradient methods for human–robot collaboration (Mechanical Engineering Journal)	八島 真人, トラン ドック リエム, 山脇 輔, 藤原 浩幸 (防衛大学)
超音波治療のための音響ホログラフィによる水中での力場制御に関する実験的検討 (日本機械学会論文集)	青木 優介 ((株) 日立ハイテク), 階戸 智也 ((株) デンソー), 白石 俊彦 (横浜国立大学)
入力飽和を考慮した閉ループ応答の信頼区間解析とV-TigerによるMcKibben型空気圧ゴム人工筋の制御設計 (日本機械学会論文集)	大西 甚名, 八瀬 快人, 池田 篤俊, 竹本 康彦, 梶原 伸治, 大坪 義一, 小坂 学 (近畿大学)
Evaluation of a robotic palpation sensor system for prostate cancer screening on silicone elastomers and prostate phantoms (Journal of Advanced Mechanical Design, Systems, and Manufacturing)	Chikweto Francis, 奥山 武志, 田中 真美 (東北大学)
粘弾性体を含むソフトロボットの高速かつ安定な動力学計算法の開発 (日本機械学会論文集)	前田 能輝 (朝日インテック株式会社), 井手 俊佑 (京セラ株式会社), 白 泳宙, 梁元 航大, 中津留 旭 (SMC株式会社), 岩村 誠人 (福岡大学)
ツインCMGによるドローンの姿勢制御 (日本機械学会論文集)	大内 茂人, 稲葉 毅 (東海大学), 小谷 斎之 (釧路工業高等専門学校), 天野 嘉春, 長谷部 信行 (早稲田大学), 野口 宏実 ((株) インフィテック)

部門教育表彰

活動内容	受賞者
ロボット競技会による実践的教育活動	出村 公成 (金沢工業大学)
持続的活動によるものづくりと科学技術の理解増進活動	石原 秀則 (香川大学)

ROBOMECH表彰(学術研究分野)

講演題目	受賞者
相補的間欠歯車機構によりトルク伝達機能と関節駆動機能を両立するモジュラーロボットの構成とシリアルマニピュレータ実現 (ロボティクス・メカトロニクス講演会2024)	松尾 健登, 真壁 佑, 矢野倉 伊織, 小島 邦生, 岡田 慧, 稲葉 雅幸 (東京大学)
包括的力学勾配計算と陰的積分による柔剛体を統合したハイブリッドリンク系の高速な順動力学シミュレーション (ロボティクス・メカトロニクス講演会2024)	石垣 泰暉 (東京大学), 鮎澤 光 (産業技術総合研究所), 山本 江 (東京大学)
ポータブルな全日常空間身体保持力ベクトル場の計測・可視化技術 (ロボティクス・メカトロニクス講演会2024)	野村 彩乃, 西田 佳史 (東京科学大学)
2段特性を有するトルクセンサ一体型関節モジュールの開発 (ロボティクス・メカトロニクス講演会2024)	黒田 達朗, 谷口 祥平, 池内 宏樹 (パナソニックコネクト株式会社)
多面体折り紙基板を用い立体配置された絶対圧力センサによる三次元流速センサ (ロボティクス・メカトロニクス講演会2024)	安藤 龍生, 岸本 卓大, 嶋田 恒大, 高橋 英俊 (慶應義塾大学)
小型月面表面探査ホッピングローバLEV-1 の開発	吉光 徹雄, 大槻 真嗣, 吉川 健人 (宇宙航空研究開発機構), 前田 孝雄 (東京農工大学), 國井 康晴 (中央大学), 富木 淳史, 宇佐美 尚人 (宇宙航空研究開発機構), 廣瀬 智之 (株式会社デジタル・スペース), 秋山 演亮 (和歌山大学)
High Precision Compensator-based Control System for Standard Rotary Pneumatic Actuator with Rubber Packing(ICAM 2024)	Lim Wen Chiang, 高岩 昌弘(徳島大学)

ROBOMECH表彰(産業・実用分野)

主な功績・業績	受賞者
土壤センシングに向けた等方性メタマテリアルの反射特性評価 (ロボティクス・メカトロニクス講演会2024)	菅 哲朗 (電気通信大学), 谷原 渉, 佐藤 蒼馬, 尾上 弘晃
ブドウのジベレリン処理および収穫の自動作業 ロボット (ロボティクス・メカトロニクス講演会2024)	西尾 卓純 (東京大学), Chaves Silva Romulo , 神谷 優理, 深尾 隆則 (東京大学)
余事象動作を考慮した隠れセミマルコフモデルを用いたロバストな介護作業識別 (第29回ロボティクスシンポジア)	島田 悠之介 (北海道大学), 迎田 隆幸 (神奈川県立産業技術総合研究所), 日下 聖 (北海道大学), 遠藤 維, 多田 充徳, 宮田 なつき (産業技術総合研究所), 田中 孝之 (北海道大学)

ベストプレゼンテーション表彰

講演題目	受賞者
実証実験を前提とした小型自律移動ロボット開発教育の実践と次世代システム開発への取り組み	青木 悠祐 (沼津工業高等専門学校)
組立自動化のためのメタレンズによる超薄型・遠近ハイブリッドカメラ光学系および吸着機能搭載画像センサの提案	阿部 有貴 (株式会社サムソン日本研究所)
作業アームを有するクローラロボットを利用した軍艦島の建物の劣化調査	大野 和則 (東北大学)
ねじり機構をもつアーティキュレート式移動ロボットの歩行動作	江藤 亮輔 (防衛大学)

ベストデモンストレーション表彰

講演題目	受賞者
回転数計測と視覚的フィードバックが可能な投球練習用ボールの開発	松野 孝博（近畿大学）
空圧シリンド兼用支柱を有するパンタグラフバルンサの アーム自重補償機構の設計	西田 莉那 (白山工業株式会社極限環境ロボット研究所)
ワニ類の歩行を生み出す筋腱系の力学的機能検証に向けた実寸大骨格プラットフォームの開発	木村 魁斗（大阪大学）
足関節インピーダンスをオンラインで推定可能なウェアラブルデバイスの開発	矢木 啓介（茨城大学）
オジギソウの膨圧運動の再現を目指した流体ソフトアクチュエータ	藤井 勇太（東京科学大学）
迅速な狭隘空間探査を実現する受動変形型細径スカラロボット	渡邊 悠人（東北大学）

部門欧文誌表彰

論文題目	受賞者
Interactive driving of electrostatic film actuator by proximity motion of human body (ROBOMECH Journal volume 11, number:7, 2024)	山本 晃生, 奥野 瑛（東京大学）, 吉元 俊輔（大阪大学）

分野融合研究優秀表彰

講演題目	受賞者
Study on Estimating the Tip Force of an Object in a Pen Grip Posture (ICAM2024)	羽柴 溫史, 田中 真美, 奥山 武志 (東北大学)
Development of robotic musculoskeletal walking simulator for biomechanism analysis of human walk (ICAM2024)	坂井 伸朗, 高杉 優輝, 北岡 史也 (九州工業大学), 金古 香利, 林 克樹 (誠愛リハビリテーション病院)
Development of Augmented Jump SLIP model and Its Optimization based on Impulse Analysis (ICAM2024)	亀井 佐以蔵, 日下 聖 (北海道大学), Taro Nakamura, 伊藤 文臣, 伊津野 武史, 高桑 凜空 (中央大学), 田中 孝之 (北海道大学)
Ability mining of manipulation by foot postural change - Fundamental investigation into the operating characteristics of the heel-supported foot- (ICAM2024)	小森 雅晴, 小谷野 倫太郎, 末松 雄弥, 寺川 達郎 (京都大学)
On-demand perforation using electrically induced microbubble for improvement of needle-free reagent injection volume (ICAM2024)	青艸 裕大, Ma Yibo , 山西 陽子 (九州大学)
What is the ideal origami development diagram for cells? -3D tissues produced by origami and micro/nano technologies- (ICAM2024)	繁富 香織, 堀山 貴史 (北海道大学), 上原 隆平 (北陸先端科学技術大学)
回転数計測と視覚的フィードバックが可能な投球練習用ボールの開発 (ロボティクス・メカトロニクス講演会2024)	松野 孝博 (近畿大学), 渡邊 達也 (日産クリエイティヴサービス)
脱力可能な関節を備えた腱駆動多関節ロボットアームによる投球動作 (ロボティクス・メカトロニクス講演会2024)	中野 風志 (東京大学), 濱屋 政志, 田中 一敏 (オムロンサイニックエックス株式会社)
光学バイオセンサー応用に向けたDNA修飾ナノ粒子結晶の特性評価 (ロボティクス・メカトロニクス講演会2024)	鐵矢 竜太, 鳥取 直友, 横森 真麻 (九州大学), 田川 美穂 (名古屋大学), 菅野 茂夫 (産総研), 佐久間 臣耶, 山西 陽子 (九州大学)

講演題目	受賞者
シートを用いた触感提示デバイスによるなぞり動作時の力覚提示に関する研究 (ロボティクス・メカトロニクス講演会2024)	奥山 武志（東北大学），佐藤 広夢（東京地下鉄株式会社），田中 真美（東北大学）
歩行空間における搭乗者の行動選択特性を考慮した自律移動車いすの経路計画 (ロボティクス・メカトロニクス講演会2024)	林 瑠子，吉武 宏，小竹 元基（東京科学大学）
実環境に則した誤差が生成可能なGNSS/IMUシミュレータの開発 一性能劣化要因の簡易的な模擬による位置推定誤差予測の実現— (ロボティクス・メカトロニクス講演会2024)	新美 大樹（名城大学），大竹 未祐（トヨタ紡織），目黒 淳一（名城大学）
半座りパーソナルモビリティの開発と検証 —屋内における使用を想定したデザイン提案— (ロボティクス・メカトロニクス講演会2024)	齋藤 美沙，三谷 篤史（札幌市立大学）
ポリマーブラシ膜のパターニングを用いた 界面制御によるマイクロ電気泳動チップの開発 (ロボティクス・メカトロニクス講演会2024)	長野 圭造，伊藤 伸太郎，福澤 健二，東 直輝， 張 賀東（名古屋大学）
指装着型点字識別システムの開発に関する研究 (ロボティクス・メカトロニクス講演会2024)	三ツ木 鴻佳，田中 真美，奥山 武志（東北大学）
テクスチャモデル簡略化に向けた 重回帰モデル適応の検討 (ロボティクス・メカトロニクス講演会2024)	戸塚 圭亮，五十嵐 洋（東京電機大学）
ひずみセンシングポリマーを用いた 触覚画像センサによるロボットハンドの把持制御 (ロボティクス・メカトロニクス講演会2024)	石田 大貴，下ノ村 和弘（立命館大学）
超撥水性スポンジ装備湾曲フィルムを利用した マランゴニ推進型油分回収システムの構築 (ロボティクス・メカトロニクス講演会2024)	森林 広大，遠藤 洋史（富山県立大学）

ロボティクス・メカトロニクス講演会2026(ROBOMECH2026 in Fukuoka)開催案内

開催日：2026年6月28日（日）～ 7月1日（水）

会場：福岡国際会議場（〒812-0032 福岡県福岡市博多区石城町2-1）

講演会URL：<https://robomech.org/2026/>

ROBOMECH2026 実行委員長 田原 健二（九州大学）

ロボティクス・メカトロニクス講演会2026 (ROBOMECH2026 in Fukuoka) は「無限に拡がるロボティクス・メカトロニクス」をテーマに、2026年6月28日（日）から7月1日（水）にかけて福岡国際会議場で開催致します。今日、AIやIoT、ロボティクス・メカトロニクス技術の進歩は、我々の想像を超える速度でその応用範を広げています。製造業、医療、農業といった従来の分野にとどまらず、新たなサービスやビジネス、そして我々の生活そのものを変革する可能性を秘めています。本講演会では、これらの技術が持つ「無限の可能性」を探求し、多様な分野の参加者とともに、未来社会を創造するための活発な議論を期待しております。

6月28日（日）に市民向けイベント、6月29日（月）にワークショップ・チュートリアルを開催し、6月30日（火）、7月1日（水）にポスター講演と企業展示を行います。6月30日（火）の特別講演には、九州旅客鉄道株式会社（JR九州）社長の古宮洋二氏をお招き致します。古宮洋二氏はクルーズトレイン「ななつ星 in Kyushu」を取りまとめられたことでも知られており、サービスデザイン、ものづくり、そして人との関わりを高いレベルで融合させたそのご経験は、ロボティクス・メカトロニクス分野の研究者にとって大きな示唆を与えてくださるでしょう。

九州の玄関口であり、若者が多く活気あふれる国際都市である福岡は、スタートアップ企業の拠点としても注目されています。講演会での学術的な議論に加え、多様な食文化（ラーメン、もつ鍋、新鮮な海の幸など）や、太宰府などの歴史的な街並み、豊かな自然など、福岡ならではの魅力を存分にお楽しみ頂ければ幸いです。

主要日程（予定）

OS募集〆切：	2025年11月17日（月）
講演申込〆切：	2026年 2月 6日（金）
企業展示・広告・企業PR申込〆切：	2026年 4月24日（金）



今後の行事についてのご案内

● フューチャードリーム！ロボメカ・デザインコンペ2025

日時：2025年12月13日（土）（最終審査会）

場所：福岡市科学館（〒810-0044 福岡県福岡市中央区六本松4丁目2-1）

URL：<https://sites.google.com/view/rmdc/home>

● pico-EV・エコチャレンジ2026

日時：2026年3月1日（日）

場所：西日本工業大学体育館（〒800-0394 福岡県京都郡苅田町新津1-11）

URL：<http://picoev.main.jp/>

● 第31回ロボティクスシンポジア

日時：2026年3月17日（火）～18日（水）

場所：北海道函館市 湯の川温泉 花びしホテル（〒042-0932 北海道函館市湯川町1丁目16番18号）

URL：<https://www.robotics-symposia.org/31st/>

● ロボティクス・メカトロニクス講演会2026

日時：2026年6月28日（日）～7月1日（水）

場所：福岡国際会議場（〒812-0032 福岡県福岡市博多区石城町2-1）

URL：<https://robomech.org/2026/>

第103期ロボティクス・メカトロニクス部門

部門長 田中 孝之（北海道大）

副部門長 川端 邦明（原子力機構） 幹事 渋川 文哉（IHI）

編集：広報委員会

委員長 高田 敦（東工大） 副委員長 衣川 潤（福島大）

委員 日下 聖（北海道大） 幹事 小水内 俊介（香川大）

ロボメカ部門関係アドレス

■ 部門ホームページURL

<https://www.jsme.or.jp/rmd/>

■ 部門広報委員会メールアドレス

rmd@jsme.or.jp